

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
国語	中学3年	授業アイデア事例集【中学校版】p9, 10	Ⅲ

授業内容	表現技法をもとに、短歌集「十五の色」をつくろう。
身に付けたい力	様々な技法を活用して、自身の思いを短歌に表現する力。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
国語	3年	深谷市立豊里中学校	27年度 全国 A3	Ⅲ
授業の内容	創作を通して表現の工夫を学ぼう。			
身に付けたい力	<ul style="list-style-type: none"> 文脈における語句の効果的な使い方等、表現上の工夫に注意して読む力。 論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価し、自分の表現に役立てる力。 			
<p>【課題の見られた問題の概要と結果】</p> <p>A3- 文章に用いられている表現の工夫に気づく。 正答率 57.1%</p> <p>27年度 全国 A3 第1学年B-1(国) 第2学年B-1(国)</p>				
<p>事例1 表現の工夫から思いを読み取る 「春」(4月)</p> <p>「春」で表現の工夫を鑑賞した後、他の詩の詩を選んだ読み、表現の工夫に気づく。</p> <p>「春」で表現の工夫を鑑賞した後、他の詩の詩を選んだ読み、表現の工夫に気づく。</p> <p>「春」で表現の工夫を鑑賞した後、他の詩の詩を選んだ読み、表現の工夫に気づく。</p>				
<p>事例2 表現の工夫を生かして創作する 「近代の俳句」</p> <p>「近代の俳句」を読み味わい、気づいたことを俳句に込められた思いを、詩の形式で表現する。</p> <p>「近代の俳句」を読み味わい、気づいたことを俳句に込められた思いを、詩の形式で表現する。</p>				
<p>【授業のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○表現の工夫を、「読む」活動の中で知識としてとらえたり、「書く」活動の中で相互に関連を持たせたりして、繰り返し指導していく。 ○教材の作品を鑑賞して表現の工夫を学ぶだけでなく、生徒作品を読み合うことで、表現の工夫に気づき、活用できる知識・技能としての定着を図る。 				

【授業のポイント】

○単元の目標を明確に示し、動画や「ドラえもん短歌」で、和歌に対するイメージを身近なものにする。

【授業の様子】

- ・授業の初めに「十五の色」という短歌集を作成するという目標を示した。さらに一分間の動画を見せたところ、全ての生徒が意欲的に見ていた。
- ・「ドラえもん短歌」の例を紹介する場面では、身近なテーマであるドラえもんに関する短歌を読み、自分自身の短歌づくりに活かそうとする姿勢が見られた。



【効果】

- ・動画や「ドラえもん短歌」を通して、短歌の学習や短歌づくりへの関心を高めることができた。「十五歳の今思っていること・感じていること」を短歌のテーマに設定したことで、その後の「短歌の調べ」の学習に意欲的に取り組む姿が見られた。

【留意点】

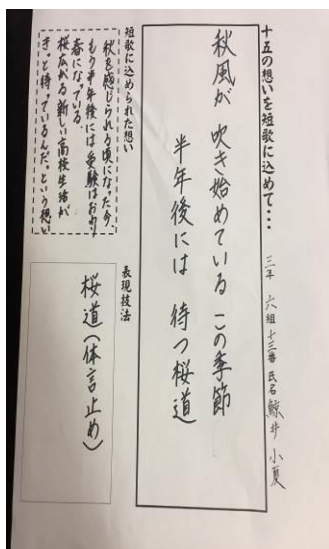
- ・ICT 機材の活用できるような環境を整えること。
- ・「ドラえもん短歌」のような生徒の興味を引くものを用意すること。
- ・授業で学習した技法を意図的に使用して、意図的に短歌をつくること。
- ・様々な技法を用いて自分の気持ちを表現する楽しさを感じさせるように、多くの友達と読み合いを行わせること。

【授業のポイント】

○短歌以外にも詩、俳句を紹介し、それぞれの表現技法を確認し、短歌づくりに活かす。

【授業の様子】

- ・教科書の十四首の短歌以外にも、詩「春に」や俳句「梅の香にのっと日の出る山路かな」を紹介し、体言止め・反復法・対句法・倒置法など短歌づくりに取り入れる技法を再度学習した。短歌づくりでは、友達同士で読み合いながら、積極的に交流する姿勢が見られた。



【効果】

- ・「今思っていること」をテーマに、様々な技法を取り入れた短歌を作ることができた。授業が終了したあとも短歌づくりに夢中になっている生徒も多く見られた。また読み合いや動画を使用した一人一人のクラス発表の際にも、友達の作った短歌に関心を持って聞いている生徒が多かった。